日本と台湾の ターミナルケアの現場から

<u>~チームマネジメントとターミナルケア体制の課題~</u>

日本をはじめ、世界で進む高齢化という地球規模の課題。

なかでも「高齢者福祉施設におけるターミナルケア」のあり方は重要課題の一つで、

近年は日本だけでなく台湾においても議論が活発化しています。

今回、本学と包括協定を結んでいる台湾台北市の総合大学 東呉大学の

ソーシャルワーク学科教授 荘秀美先生の来日に合わせて、公開シンポジウムを開催します。

特に、組織における多職種協働の重要性や専門職のリーダーシップなど、

「チームマネジメント」「ケア体制」にフォーカスし、日本と台湾の現状と課題を議論していきます。



若 秀美 先生(Chuang, Hsiu-Mei)

PROFILE

1997年3月、久留米大学比較文化研究科地域福祉社会学専攻 後期博士課程修 了、博士号取得。2008年2月~現在、東吳大学人文社会学部ソーシャルワーク学科 教授。2019年8月1日~2022年7月31日、東吳大学人文社会学部ソーシャルワーク 学科長。

■主な論文

- · 莊秀美(2022,Sep) / 「日本推動社區整體照顧體系建構的相關課題與政策動向」COMMUNITY DEVELOPMENT JOURNAL (Quarterly).(中文)
- ・荘秀美、趙碧華(2022, Mar)/「台湾介護政策の展開とケアマネジメントをめぐる問題〜地域包括ケアの実現に向けて〜」地域連携教育研究(Journal of Community Support and Learning).(日文)

■主な研討會論文(シンポジウム)

在秀美、趙碧華(2022, Feb) / 「台湾における長期介護十年計画とケアマネジメント〜地域包括ケアシステムの実践課題に関連して〜」「日本と台湾におけるケアマネジメントの現状と課題〜在地老化(Aging in Place)とケアマネジャーの役割とは〜」オンラインシンボジウム、日本(視訊會議)

■研究テーマ

「介護施設における終末期ケアの現状、体制調整および政策構築に関する研究:日本經驗作為台灣借鏡的可行措施 之分析」(Research on the Existing State, System Response and Policy Construction of end-of-life Care in Long-term Care Institutions: Analysis of Japan's Experience as a Feasible Measures Reference for Taiwan)台湾国家科学及び技術委員会(National Science and Technology Council)補助研究(プロジェケト番号:NSTC 112-2410-H-031-038)。補助年度:2023年度。

2023年 月 日 🛨

13:00~15:30 (12:40開場)

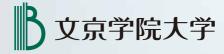
場所:文京学院大学ふじみ野キャンパス W302(講堂)

住所:ふじみ野市亀久保1196

電話:049-261-6488(代)

最寄り駅:東武東上線「ふじみ野」駅より スクールバス7分

引会 挨 拶	文京学院大学 人間福祉学科 学科長	中島修
ンンボジウム 境	東呉大学社会工作学系教授	荘 秀美氏
	文京学院大学 人間福祉学科 准教授	高橋 明美
	社会福祉法人福音会 在宅部門ゼネラルマネージャー	宮川 大蔵氏
	社会福祉法人福音会 施設部門ゼネラルマネージャー 特別養護老人ホーム 福音の家施設長 軽費老人ホームA型 町田愛信園施設長	戎 めぐみ氏
	社会福祉法人白十字会 白十字ホーム 運営管理担当部長	鈴木 剛士氏



【主催】文京学院大学人間学部人間福祉学科

【後援】台湾国家科学及び技術委員会補助研究/台湾東呉大学社会工作学系